

シルバーたいとう センターだより NO.158

発行 公益社団法人台東区
シルバー人材センター
編集 総務・広報委員会
台東区東上野 1-28-5
電話 5817-4919
FAX 3834-6605
アドレス <https://www.taito-sc.or.jp/>
メール taito@sjc.ne.jp
発行日 令和7年1月1日
会員数 922人(令和6年11月末日現在)

己



名誉会長
台東区長 服部 征夫

新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
シルバー人材センターの設立理念である「自主・自立、協働・共助」のもと、
会員の皆様が、長年培ってきた豊富な知識と経験を活かし、社会参加をしながら
生きがいと活力ある地域社会づくりに、大いに寄与されていることに、深く敬意を表します
とともに、心より感謝申し上げます。

区では、「高齢者をはじめ、誰もが尊敬を守られ、いきいきと安心して自立した生活を続けら
れるまち」、「多様性が尊重され、住み慣れた地域全体で助け合い支え合えるまち」を目指して
います。

そのためには、地域住民や多様な主体が参画し、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を創っ
ていく「地域共生社会」の実現を図るとともに、地域包括ケアシステムの深化、推進に向けて、
様々な施策を着実に推進してまいります。

また、今月から始まるNHK大河ドラマ「べらぼう〜萬重栄華乃夢斬〜」主人公の萬屋重
三郎が生まれ育ち、才能を開花させたゆかりの地として、本区の歴史や文化に更なる注目が集
まることが期待されます。

皆様には、すばらしい知識と経験、技能を活用し、地域に密着した多彩なサービスの担い手
として、活力ある地域社会づくりに貢献していただくよう、大いに期待しております。
結びに、シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を祈念申し上げます
ご挨拶といたします。



会長 生沼 正篤

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新設された竜泉福祉センター「いきいきてらす」の清掃・管理業務
をはじめ、特殊詐欺防止啓発活動業務、児童館に於ける子どもとシルバー会員との交流事業等、
様々な業務を受託いたしました。本年も会員と職域の拡大に努め、センターをさらに充実させ
ていく覚悟でございます。

また社会全体でデジタル化が進展する中、シルバー人材センターにおいてもデジタル化の推
進が大きな課題となっております。昨年十一月から「Smile to Smile」の運用が始ま
りましたが、今後もセンター業務のデジタル化推進に向けた取り組みを検討してまいります。

今後とも、地域の多様なニーズに対応できるよう、様々な取り組みを積極的に進めてまいり
ます。どうぞ会員の皆様や関係各位には、引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し
上げます。

最後になりますが、会員の皆様そしてご家族の皆様方のご健勝と一層のご多幸を祈念いたし
まして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年おめでとーございませう

名誉会長 服部 征夫
 台東区長 生沼 正篤
 会長 金子 時男
 副会長 吉田 美生
 常務理事 佐藤 勝枝
 事務局長 菊地 真佐子
 理事 佐藤 幸一
 理事 佐藤 俊廣
 理事 高木 康勝
 理事 澤口 康子
 理事 浅野 勝美
 監事 高橋 孝子
 監事 立石 淑子

題字「克己」トヒツソ

この題字は、当センター会員の松田義政さんに揮毫していただきました。
 「克己」とは「自分の邪念や欲望に打ち克つこと」の意味です。魁夷の皆様にとって、新しい年が希望に満ちあふれた明るい年でありませうお祈りいたします。
 また本号をお送りした封筒の宛名は、毎月の毛筆筆耕講習会で勉強されている会員の皆様に書いていただきました。
 (総務・広報委員会)

令和六年度上半期の運営状況報告

令和六年度の事業運営については、契約金額等は前年度より増になり、持ち直しの動きがみられました。
 令和六年度上半期の主な事業実績は次表のとおりです。

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
経常収益	233,882,588 円	5,759,207 円	239,641,795 円
受託事業収益	193,054,505 円	1,185,095 円	194,239,600 円
労働者派遣事業等受託収益	797,599 円	0 円	797,599 円
受取会費	637,500 円	212,500 円	850,000 円
受取補助金等	39,252,600 円	4,361,400 円	43,614,000 円
受取負担金	138,000 円	0 円	138,000 円
特定資産運用益	2,384 円	212 円	2,596 円
雑収益	0 円	0 円	0 円
経常費用	221,797,628 円	4,717,026 円	226,514,654 円
事業費	221,797,628 円	0 円	221,797,628 円
管理費	0 円	4,717,026 円	4,717,026 円
当期経常増減額	12,084,960 円	1,042,181 円	13,127,141 円
経常外収益	0 円	0 円	0 円
経常外費用	0 円	0 円	0 円
当期経常外増減額	0 円	0 円	0 円
当期一般正味財産増減額	12,084,960 円	1,042,181 円	13,127,141 円
一般正味財産期首残高	53,782,810 円	6,782,556 円	60,565,366 円
一般正味財産期末残高	65,867,770 円	7,824,737 円	73,692,507 円
正味財産期末残高	65,867,770 円	7,824,737 円	73,692,507 円

請負・委託事業

項目	6年9月	5年9月	差引
正会員数	885人	923人	38人減
就業延日人員	35,261人	34,905人	356人増
契約件数	1,365件	1,352件	13件増
契約金額	194,240千円	186,019千円	8,221千円増
配分金額	182,277千円	174,476千円	7,801千円増

労働者派遣事業

項目	6年9月	5年9月	差引
就業延日人員	1,344人	1,182人	162人増
契約金額	9,725千円	8,335千円	1,390千円増

理事会だより

第七回理事会（令和六年十月二十二日開催）

- ・ 審議事項
 - ① 新規入会について
 - ② 規程類の改正について
- ・ 協議事項
 - ① 第二ブロックシルバー人材センター合同役員研修会について
- ・ 報告事項
 - ① 定款第二十四条第五項に定める職務の執行状況の報告について
 - ② 令和六年九月事業実施状況について
- ・ 第八回理事会（令和六年十一月二十六日開催）
 - ・ 審議事項
 - ① 新規入会について
 - ② 規程類の改正について
 - ③ 安全標語の応募状況について

令和七年度定時会員総会の開催日

令和六年十一月二十六日開催の理事会において、令和七年度定時会員総会の開催日が次のとおり決まりました。
 今後、当センター定款の規定による手続きを経て、定時会員総会開催日の二週間前までに、会員の皆様方に正式な通知をお送りいたします。

期日 令和七年六月二十七日（金）
 会場 台東一丁目区民館 多目的ホール

安全巡回指導 実施中です

安全管理委員会では、会員の皆様に安全に就業していただくため、上半期に引き続き安全巡回指導を毎月実施しています。

訪問先では、就業状況や健康診断の受診、緊急時連絡先の掲示、救急用品のチェックをするほか、自宅から就業先への経路途中における自転車利用の注意喚起も行っています。

また、発注者様にもお話しをお聞きしています。シルバーの皆さんにはよく仕事をしていただいております。本当に助かります」との声をいただいております。

今後、皆様方の就業先にお邪魔したときはご協力ください。

回	実施日	訪問先	業務内容
7	10月10日 (木)	慶養寺	清掃
		保元寺	清掃
8	11月11日 (月)	入谷地区センター	清掃
		アトムリビテック株式会社	清掃

いきいき美容教室 開催しました

11月22日(金) 老人福祉センターにてシルバー会員限定「いきいき美容教室」が開催されました。資生堂ジャパンの指導の下、集まった女性会員12人はまず素顔に戻って顔のマッサージから、唾液腺を意識したスキンケア法で顔の筋肉をほぐします。講師の邊見千絵さんによると「化粧は食事の2~3倍腕の筋肉を使う」のだそう。次第に肌色が明るくなった様子の会員たちは、用意された資生堂の化粧品を使ってメイクを仕上げていきます。途中、若々しい印象に見える眉の描き方を教えてもらったり、チークや口紅をほかの人に選んでもらったりしてメイクのコツを楽しみながら学んでいました。参加した会員からは「マスク生活のせいで化粧も薄くなりがち。やはり口紅までしっかり仕上げると出かけた気分になる」と声を弾ませる人(74歳)や「自分が持っていない道具を使ってみることができて有益。いいことを教えてもらった」(83歳)と満足の様子も。終始笑顔の絶えない和やかな1時間となりました。



危険予知トレーニング研修会を開催します

「K(危険)Y(予知)T(トレーニング)」講習では、危険を事前に予測し、適切に対応することにより事故を未然に防止しようという講習です。「安全」に危険な場面を覚えることで、危険を予測する能力のトレーニングになります。

日時 1月28日(水) 午後2時
会場 東上野2-25-14
老人福祉センター5階 第1集会室
申込み 5817-4919 ※先着20名

安全 第一

安全就業について

会員の皆様には、日頃より安全就業に努めていただきありがとうございます。お陰様で当センターでは、令和6年度上半期に大きな事故はありませんでした。引き続き安全に気を付けながら就業していただければと思います。

シルバー人材センターの仕事において、事故を未然に防ぐには、作業前の現場確認を徹底し、色々な場面を想定しながら危険を予測することが重要です。そして、それを防止するための対策を講じる事が大切です。一人での作業では、危険な要因に気付かないこともあり注意が必要です。

「このくらいは大丈夫だろう」、「危ないと思ったけど、ひと手間かけるのが面倒」等、思い当たることはないでしょうか。

事故を起こして後悔する前に、作業前に危険を予知して安全を先取りすることが大変重要です。一人ひとりがこうした行動をとり、作業内容に合わせて、チーム内で互いに情報を共有することで大きな効果が生じるはずです。

また、就業途上の安全も同様です。とりわけ自転車利用は、ちょっとした不注意等で思わぬ事故に繋がります。通り慣れた道であっても、危険は身近なところに潜んでいます。是非ご注意くださいと思います。

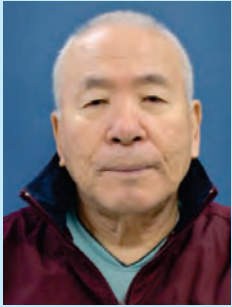
当センターでは、「安全はすべてに優先する」を基本に安全就業対策を重要課題として位置づけ、安全管理委員会を中心に必要な安全対策を講じて参りました。今後とも、安全管理委員会では効果的な安全対策を検討して参りますので、会員の皆様には、引き続き就業途上も含めた安全就業に努めていただきたいと思います。

2025年（令和7年）は^{へび}巳年です。

年男・年女の皆さんに

①趣味（生きがい・楽しみ）②今までで一番の思い出③2025年の抱負をお聞きしました。

昭和16年 安藤 高司



- ① 野球観戦、旅行
- ② 20年ぐらい前、メジャーリーグの解説をしている方と知り合い、その方のツアーに参加して大好きなアメリカ野球を直に見ることができ、球場のグラウンドに降りたり、選手のロッカールームを見学したり、当時活躍していた選手と食事ができたりと、今ではできない経験ができたことです。ちなみに、アメリカ全土の球場を制覇しました。
- ③ 健康、怪我に注意して、少しでも長く勤めていけたらと思います。

昭和16年 山崎 正子



- ① 老人会の人とペタンク、ポッチャ等をしています。夏は盆踊りをしています。この頃は、ひ孫ちゃんと会うのが楽しみです。
- ② 昨年、ひざの手術をして入院している時、友達が毎日絵手紙を送ってくれたのがとても嬉しかったです。
- ③ できるだけ長くシルバーの仕事を続けたいと思っています。体には出来るだけ気を付けているようにしています。

昭和16年 阿久津 智子



- ① 孫の成長とカラオケ
- ② 友達とのカラオケ
- ③ 健康第一、友達と旅行すること

昭和16年 長津 ます子



- ① 旅行（国内、ヨーロッパ、ベトナム、インドネシア、パリ、イタリア、中国は全土、ハワイは9回も）
- ② 家族との旅行、孫の誕生と成長
- ③ 働いて元気で暮らせますように

昭和28年 重田 治宣



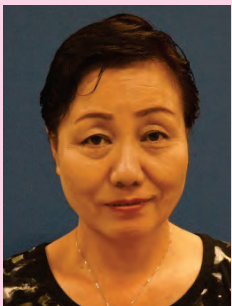
- ① 低山登山。毎年7～8の低い山に登ることです。昨年行って良かったのは、那須岳の紅葉が綺麗でした。
- ② 一番の思い出というほどインパクトのある人生をおくってきかないのでこれからも平凡が一番だと思います。
- ③ 昨年は例年より百合の花がよく咲いたので、今年はもう少し種類と花数を増やそうと思います。

昭和28年 鳥居塚 芳枝



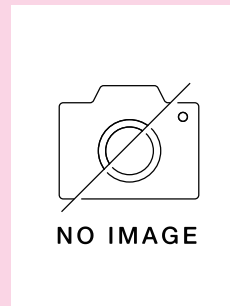
- ① 数独と、毎年スマレの鉢植に現れる蝶の幼虫（ツマグロヒョウモン）の成長を見守ること。
- ② 結婚当初の富山県での12年間。北陸の自然や文化に触れながら、子育てができ、家族でいろいろな体験ができたことです。
- ③ 毎日楽しく過ごせるよう健康に気を付ける。

昭和28年 池田 元美

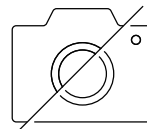


- ① 手芸（ビーズフラワー）と植物を育てること（植木、観葉植物）
- ② 家族旅行（海外）
- ③ 健康で過ごせることです。

昭和28年 渡邊 澄子



- ① 自分の時間にビールを飲むこと
- ② 電車で初めて席を譲られたときショックでした
- ③ 自分を助けられるのは自分だけ



NO IMAGE

ドイツ放送局（民放最大手RTL）から取材を受けました



日本は65歳以上の「4人に1人」が働いているという調査結果が、この秋総務省から発表されました。これは韓国に次いで世界で2番目の高さだということをご存じでしたか？

そんな日本の現状を知りたいと、この度ドイツから取材陣がやって来ました。ドイツは定年67歳。それでも65～69歳の就業率は7.4%でとても低い状況にあります。定年後は仕事をしないのが当然という風潮なのだとか。

働く日本の高齢者の代表として当シルバー人材センターで働いている3人の方を紹介し、シルバーで働くことになったいきさつや何のために働き続けるのか、仕事の楽しさなどインタビューも交え、それぞれの職場で取材を受けていただきました。

そのうちの一人 寺尾モンさん（90歳）は、シルバー人材センター作業所で働いて今年で22年。「配分金で孫やひ孫に何か買ってあげることが楽しみ」と話す寺尾さんの仕事ぶりや商店街で買い物をしている普段の様子などをカメラに収めていました。また、日本ならではの筆耕のお仕事をしている土屋和子さん（83歳）の職場には取材クルーも興味津々。

日本の高齢者の社会参加を伝える映像が、ドイツの方々にはどのように映るのかとても楽しみです。（残念ながら日本国内の放送はありません）



取材を受ける寺尾モン会員



筆耕の筆の動きが美しいと感激したカメラマン



ドイツからの取材クルー

これからシルバー応援フェスタ にぎやかに開催

令和六年十月二十三日（水）台東区役所にて「これからシルバー応援フェスタ」（主催・公益財団法人東京しごと財団、協賛・東京都、台東区、厚生労働省）が開催されました。

地域社会に貢献するシルバー人材センターの活動や魅力をもっと知っていただこうと、六十歳以上で会員登録の方を対象に開催されたこのイベント。会場では、フジテレビ系「ホンマでっか？TV」でおなじみ生物学者池田清彦さんによる「元気で働く秘訣」と題した講演会が行われました。池田さんは「どうせ死ぬんだから、今やりたいことをすればいい」「健康診断は受けると老後はつまらない」など、テレビのままの池田節で会場内を沸かせていました。交友のある明石家さんまさんや養老孟司さんとのエピソードなどどこでしか聞けない貴重なお話も。この日集まった六十名ほどの参加者からも「池田さんのお話は元気が出た」と大盛況でした。

また、会場では俊敏性を測定するコーナーやシルバリーの入会説明会も同時開催。会員のお二人に登壇していただきシルバーのお仕事内容ややりがいなどをインタビュー形式で紹介し、シルバー人材センターを知らない方たちにもより身近に感じていただけたイベントとなりました。



会員代表として登壇した
高木理事と佐橋理事



池田清彦氏による特別講演

配分金の取り扱いについて

令和六年中にお支払いした配分金の支払証明書は、一月中に事務局より発送する予定です。

この配分金支払証明書は、受け取った配分金の額が課税対象となる方、また配分金以外にも収入のある方で、収入の合計が課税対象となる場合は、税務署に確定申告する際に必要となります。

ご自分の令和六年中の所得を確認のうえ、所得税が課税される方は、所轄の税務署に確定申告をしてください。

確定申告についてご不明な点は、最寄りの税務署にお問い合わせください。

事務局より

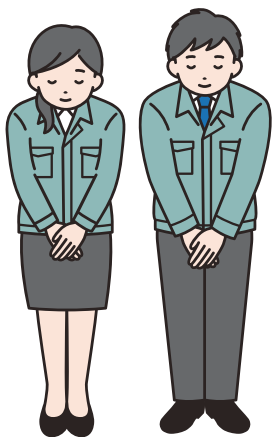
明けましておめでとうございます。

昨年中は、会員の皆様方にはお世話になりありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いたします。

年末年始であっても、普段どおりお仕事をされている会員さんには、本当にお疲れ様でございます。

事務所は一月六日（月）八時三十分から、通常どおり仕事を始めます。本年も会員の皆様のお仕事が円滑に進むよう、事務局一同頑張っておりますので、何卒よろしくお願いたします。

季節柄、まだまだ寒い日が続きますが、皆様どうぞお体ご自愛ください。



投稿写真

皆様の投稿をお待ちしています。



写真撮影 藤川 實会員